

街歩き台東散歩“日本de初”を探してみよう!



歴史と文化の街台東区には、さまざまな“日本で初めて”があるのを知っていますか？季節は春！桜で彩られた台東を散歩しながら“日本初”や“発祥の地”を訪ねてみませんか!?



3 日本初! 国立の児童書専門の図書館 国立国会図書館 国際子ども図書館

所 上野公園 12-49 ☎ 03-3827-2053 (代) <http://www.kodomo.go.jp>
開 9:30 ~ 17:00 休 月曜日、祝・休日 (5月5日は開館、年末年始、第3水曜日/入館料: 無料)

国内外約40万点の児童書を所蔵する国際子ども図書館は、平成12年(2000)に設置された日本で初の国立の児童書専門図書館です。建物は明治39年(1906)に帝国図書館として建てられ、昭和4年(1929)に増築された明治期ルネサンス様式の建物を再生・利用、平成14年(2002)5月に全面開館しました。ガラスに覆われた美しい曲線を描くアーチ棟は、平成27年(2015)にレンガ棟とともに中庭を囲むような形で建設され、また中庭のテラスでは、カフェテリアで購入したランチ、軽食などを楽しめます。ここ国際子ども図書館では、絵本や知識の本、雑誌などの子どもの本や、世界の国や地域を知るための本が利用でき、児童書に親しむ展示会やイベント、図書館ガイドツアーも行われています(HP参照)。



▲2年前に完成した美しいアーチ棟

4 日本で最初の芸術分野の最高学府 東京藝術大学

所 上野公園 12-8 ☎ 050-5525-2013 (総務課 総務・広報係) <http://www.geidai.ac.jp>

明治20年(1887)、日本で初めて美術教員や美術家等を養成するための学校となる「東京美術学校」(現在の美術学部)として開校しました。また、同じ年に開校した日本初の音楽教員・音楽家・音楽鑑賞家の養成機関である「東京音楽学校」(現在の音楽学部)とともに、昭和24年(1949)に「東京藝術大学」に包括され、日本で最も歴史のある芸術分野の最高学府となりました。なお、藝大上野キャンパスは、道路をはさんで北側に音楽学部、南側に美術学部の建物があります。



▲当時の東京美術学校外観 写真提供: 東京藝術大学

5 日本初の「洋式音楽ホール」(休館中) 旧東京音楽学校奏楽堂

所 上野公園 8-43 <http://www.taitocity.net/zaidan/sougakudou/>
休 工事のため休館中(平成30年度再開予定) ☎ 03-5826-7125 (仮事務所)

東京音楽学校(東京藝術大学音楽学部の前身)の校舎として明治23年(1890)に創建され、日本の音楽教育を支えつづけてきた建物です。その後、施設老朽化に伴う解体などの話もありましたが、昭和62年(1987)に上野公園内に移設・保存され、翌年、日本最古の洋式音楽ホールを持つ校舎として重要文化財に指定されました。館内は当時の歴史がうかがえる和と洋の粋を生かした造りで、2階にある客席338席の小さなホールでは、かつて多くの演奏会が開かれ、瀧廉太郎、山田耕筰、三浦環など幾多の音楽家が巣立っていました。なお、現在は保存活用工事のため休館中で、リニューアルオープンは平成30年(2018)度の予定です。



▲移築後の奏楽堂



▲歴史を感じる音楽ホール



▲コンサート用としては日本最古のバイオリン

6 初めてパンダが来た日本初の動物園 日本初開業のモノレールも運行中!!

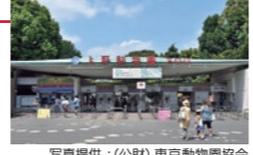
所 上野公園 9-83 ☎ 03-3828-5171 (代) 開 9:30 ~ 17:00 ※入園は16:00まで
休 月曜日(祝・休日の場合は翌火曜日)、年末年始/入園料: 詳細はHP参照 <http://www.tokyo-zoo.net/zoo/ueno/>

明治15年(1882)に開園した、国内初にして最古の動物園で、たくさんの方が訪れ親しまれています。昭和47年(1972)10月28日、日本に初めてパンダの「康康」(オス)と「蘭蘭」(メス)がやって来て、当時ブームを巻き起こしました。また、昭和32年(1957)、東京都は戦後の交通需要に対処するため、路面電車に代わる交通手段として、実験的にモノレールを上野動物園に造り、日本で最初に開業しました(世界で2番目に古いモノレール)。現在も園内の「東園」と「西園」の2駅間を運行している上野懸垂線(都交通局所管)がそれで、今年(2017)は上野動物園モノレール開業60周年に当たります。



▲開業当初(左)と現在のモノレール(右) 写真提供: 東京都交通局

恩賜上野動物園



写真提供: (公財)東京動物園協会

7 日本初の公立美術館 東京都美術館

所 上野公園 8-36 ☎ 03-3823-6921 (代) <http://www.tobikan.jp>
開 9:30 ~ 17:30 (特別展開催中の金曜日は20:00まで) ※入館は閉館の30分前まで/入館料: 無料。観覧料は展覧会ごとに異なります。
休 第1・第3水曜日、特別展・企画展: 毎週月曜日休室(祝・休日の場合は翌日)、年末年始、整備休館



▲現在の東京都美術館 写真提供: 東京都美術館

大正15年(1926)、東京都美術館は「東京府美術館」の名称で、日本で最初の公立美術館として生まれました。欧州の国々のように“公立の美術館”建設が求められる中、北九州の石炭商、佐藤慶太郎が、建設資金を東京府に全額寄付したことで実現しました。開設当初の府美術館は、“芸術家の発表の場”となり、ここに作品が展示されることは、芸術家として認められたことを示したといえます。昭和51年(1976)に日本の美術館初の本格的な公開図書が設けられました(当時の資料は東京都現代美術館に移管)。現在の東京都美術館では、「美術情報室」で美術図書や展覧会図録などを自由に閲覧することができ、館の歴史に関するアーカイブズ資料も保管しています。

8 日本で最も古い、日本で最初の国立博物館 東京国立博物館

所 上野公園 13-9 ☎ (ハローダイヤル) 03-5777-8600 <http://www.tnm.jp>
開 9:30 ~ 17:00 (3月17日以降の金・土曜日は20:00まで) ※入館は閉館の30分前まで/入館料: 詳細はHP参照
休 月曜日(祝・休日の場合は翌火曜日)、年末年始

本館・表慶館・東洋館・平成館・法隆寺宝物館・黒田記念館の6つの展示館と資料館等から成り「トール」の愛称で親しまれている東京国立博物館は、明治5年(1872)、文部省博物館が湯島聖堂大成殿において最初の博覧会を開催したとき、わが国最古の博物館として産声をあげました。博物館は開館後間もなく内山下町に移転、そして明治15年(1882)に上野公園に移り、現在にいたっています。また、中央と左右に美しいドーム屋根が特徴の「表慶館」は、皇太子(後の大正天皇)のご成婚を記念し、明治33年(1900)に計画、同42年(1909)に開館した日本初の本格的な“美術館”です。

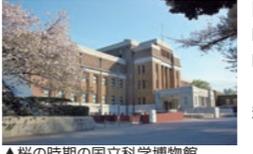


▲東京国立博物館本館 写真提供: 東京国立博物館

9 日本初の国立総合科学博物館 国立科学博物館

所 上野公園 7-20 ☎ (ハローダイヤル) 03-5777-8600 <http://www.kahaku.go.jp>
開 9:00 ~ 17:00 (金・土曜日は20:00まで) ※入館は閉館の30分前まで
休 月曜日(祝・休日の場合は翌火曜日)、年末年始/入館料: 一般・大学生620円、高校生以下は無料

国立の総合科学博物館で“科博”とも呼ばれています。明治10年(1877)創立の「教育博物館」が始まりです。明治の半ばから一時、高等師範学校の附属施設となりましたが、大正10年(1921)、「東京博物館」と改称されたからは科学博物館の性格が付けられ、昭和6年(1931)には「東京科学博物館」に改称するとともに、現在の日本館が竣工しました。同24年(1949)に名称が現在の「国立科学博物館」となりました。現在では、自然史・科学技術史に関する中核的研究機関として、筑波地区に研究施設と実験植物園、港区白金台に附属自然教育園を持ち、440万点を超える標本資料を所蔵しています。3月18日(土) ~ 6月11日(日)に、特別展「大英自然史博物館展」が開催され、大英自然史博物館のコレクションから「始祖鳥」をはじめとする選りすぐりの至宝約370点が一堂に展示されます。(※特別展料金が必要です)



▲桜の時期の国立科学博物館 写真提供: 国立科学博物館

10 日本初の「亀の子束子専門店」! 亀の子束子 谷中店

所 谷中 2-5-14-C ☎ 03-5842-1907 開 11:00 ~ 18:00 <http://www.kamenoko-tawashi.co.jp>
休 月曜日(祝・休日の場合は翌火曜日)

明治40年(1907)、本郷真砂町で生まれた亀の子束子西尾商店(本店: 北区滝野川)は、今年6月で創立110周年。そして、日本でも初となる「亀の子束子の専門店」 「亀の子束子 谷中店」(直営店)が谷中にオープンし、今年で3年目を迎えます。白を基調とした店内には、たわし以外にもオリジナルロゴグッズなど約150種類の商品が並び、季節ごとに変わる店内のディスプレイも素敵です。お土産にいかがですか! 是非お寄りください。



▲開店中は、杉玉のような大きなたわしがぶら下がっています!



▲かわいい商品が並び店内

12 本邦初! 女性作家の単独文学館 台東区立一葉記念館

所 電京 3-18-4 ☎ 03-3873-0004 開 9:00 ~ 16:30 ※入館は16:00まで
休 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)/入館料: 一般300円、小・中・高校生100円
<http://www.taitocity.net/taito/ichiyo/>



▲樋口一葉 写真提供: 台東区立一葉記念館

明治の女性作家、樋口一葉の代表作『たけくらべ』の舞台となった龍泉寺町(現・台東区電京)に一葉の文学業績を残そうと、地元有志の熱意と努力により昭和36年(1961)に開館しました。女性作家の単独資料館としては日本初の施設で、館内には『たけくらべ』の未定稿をはじめ、一葉直筆の資料などが展示されています。館の老朽化が進んだことや新五千円札の肖像化を機に、平成18年(2006)にリニューアルオープン、これを記念して「台東区立一葉記念館10年のあゆみ」展が開催されています(詳細はHP参照)。



▲一葉記念館

凡例
 ● 今も見られる“日本初” P2-3
 ● 現存しない“日本初” P4 参照
 ● 発祥の地(地碑) P4 参照
 ● 桜スイーツ P5 参照

10 亀の子束子 谷中店
 4 東京藝術大学
 5 旧東京音楽学校奏楽堂
 6 恩賜上野動物園
 7 東京都美術館
 8 東京国立博物館
 9 国立科学博物館
 11 松坂屋上野店
 12 台東区立一葉記念館
 13 日本初! 「木道の商店街」 浅草西参道商店街
 14 東京メトロ・銀座線
 15 日本初の駅の売店(現キオスク)(上野駅)
 16 日本初の街頭公衆電話(上野駅)
 17 日本初の交通信号機(上野広小路交差点)
 18 日本初のエレベーター(浅草閘跡)
 19 日本初の常設映画館(電気館跡)
 20 日本初の屋上遊園地(松屋浅草屋上)
 21 駅伝発祥の地
 22 自転車競技発祥の地
 23 喫茶店発祥の地(可否茶館跡)
 24 寄席発祥の地(下谷神社)
 25 講道館柔道発祥の地(永昌寺)
 26 ラジオ体操中継放送再開発祥の地(松葉公園)
 27 川柳発祥の地

番外編 日本初の本格コメディ国際映画祭... したまちコメディ映画祭 in 台東 “江戸下町”の風情が残る台東区で誕生した、日本初の本格コメディ国際映画祭で、平成20年(2008)から毎年開催されています。国内外の新作・旧作・名作・珍作・異色作から選ばれたコメディ映画の上映をはじめ、上野・下谷、浅草の各会場では声優関連のイベントやお笑いライブなども行われています。また、同21年(2009)から「したまちコメディ大賞」を創設し、翌22年(2010)からは「したまち演劇祭」も同時開催しています。

11 日本初! お子様ランチとエレベーターガール! 松坂屋上野店

所 上野 3-29-5 ☎ 03-3832-1111 (代表) 開 10:00 ~ 20:00 休 元日のみ <http://www.matsuzakaya.co.jp/ueno/>

昭和6年(1931)、松坂屋上野店の大食堂は、日本で初めて“お子様ランチ”をメニューに載せたことから“お子様ランチ発祥の店”としても知られています。ランチの内容は、山の型抜きライスにグリーンピース、コロッケ、オムレツなどでした。改装に伴い平成26年(2014)2月で営業を終了しましたが、同年春に本館7階にオープンした「お好みダイニング カトレヤ」が、“お子様ランチ”の歴史を引き継いでいます。また、昭和4年(1929)、店内エレベーターを運転する専用の女性店員を配置したのが、日本で最初のエレベーターガールといわれています。彼女たちは「昇降機ガール」と呼ばれ、新たな女性の社会進出の場として、当時新聞にも取り上げられるなど話題を呼びました。



▲初期のお子様ランチ



▲当時のエレベーターガール 写真提供: 松坂屋上野店

14 昭和2年、日本初の地下鉄が開業!

所 浅草駅: 浅草 1-1-3 上野駅: 東上野 3-19-6 <http://www.tokyometro.jp>

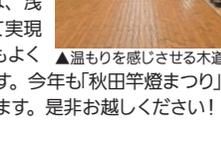
昭和2年(1927)12月30日に開業した銀座線の「浅草~上野間2.2km」は、東京地下鉄道株式会社(現・東京メトロ)によって日本で最初に造られた地下鉄です。その後、同9年(1934)に新橋まで開通、同14年(1939)には浅草から渋谷まで開通し、現在の東京メトロ・銀座線が完成しました。開業当時の運賃は浅草~上野間が10銭の均一運賃で、“十銭”の白銅貨を受け口に入れると通過できるターンスタイルの自動改札機が設置されていました。



▲目を引く歌舞伎座風の商店街入り口



▲当時の開業式典 写真提供: 東京メトロ



▲温もりを感じさせる木道



▲昭和2年頃の銀座線上野駅